

Ⅱ度以上の褥瘡の新規発生件数

分子 発生件数

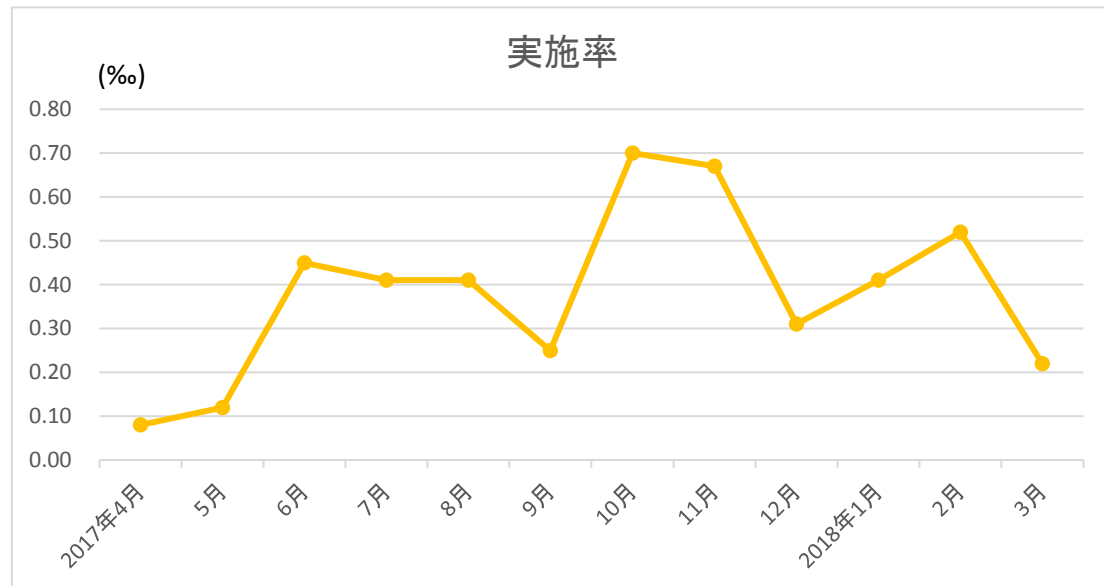
分母 計測期間における延入院患者数

※分母設定は「高齢者(75歳以上)の退院患者数」としている病院もあります。
(国立病院機構臨床評価指標)

年月	2017年4月	2017年5月	2017年6月	2017年7月	2017年8月	2017年9月	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	年間
分子	2	3	11	10	10	6	16	15	7	9	11	5	105
分母	23,868	23,273	24,073	24,281	23,962	23,467	22,553	22,064	22,368	21,644	20,764	22,540	274,857
発生率(‰)	0.08	0.12	0.45	0.41	0.41	0.25	0.70	0.67	0.31	0.41	0.52	0.22	0.38

・計算式 パーミル(‰)

入院患者1000人あたり何人 Ⅱ度以上の新規褥瘡が発生しているかを表している 分子/分母*1000



《解説》

褥瘡の発生は、患者さんの生活の質(QOL)を低下させる要因となり、また褥瘡部位から感染症を発生した場合、他の疾患に対する治療に影響を与えるだけでなく、敗血症から死に至ることもあります。患者さんの状態によっては褥瘡の発生予防が困難な場合もありますが、褥瘡対策に関する診療計画に基づいて、適切な褥瘡対策を行っていくことが求められます。